

キタ！からきた



だより

第165号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。
kitasibu2012@yahoo.co.jp 大阪北支部宛

「こんなところに社会福祉士がいた！」

＜大阪北支部・会員リレー紹介 034＞ レポーター（原川忠士）

カムバック投稿
紙配信されていなかった
記事を再投稿します！
令和4年9月号より

森之宮病院の医療ソーシャルワーカーとして働いて7年目、藤原 恵子さんをご紹介します。現在は、回復期リハビリテーション病棟で、主に脳卒中の後遺症でリハビリに取り組む方の担当をされています。お仕事の内容は、患者さんやご家族と面談を重ね、他職種と連携を図りながら、退院後の生活を見据えた支援を行ってられます。具体的には、患者さんやご家族がこれからの暮らしにどんな希望を抱き、どんな不安を感じてられるのか、お話をお聞きしながら、介護保険や身体障害者手帳などの利用できる社会資源を案内し、生活プランを一緒に考えてられます。他にも入院に伴う経済的な問題や復職に関すること等々多岐にわたる相談に対応されています。

社会福祉士を目指すきっかけは、大学卒業後、広告代理店で働いておられ、たまたま電車で目にした言語聴覚士の専門学校の広告だそうです。何となく興味を持って、色々調べているうちに社会福祉士をはじめ福祉に携わる多くの仕事があることを知ったとのこと。福祉に関心を持ったのは障がいをお持ちの方が身内にいたことも大きかったのかも話されていました。そして、転職を決意して会社を辞め、通信で社会福祉士の受験資格が得られる養成施設に入学。入学後は社会福祉協議会で日中アルバイトしながら、勉学に励まれたそうです。



大切にしている事は、公私関わらず、何か期待されると、完璧に100%以上の結果を出そうと自分にプレッシャーをかけて頑張り過ぎて疲れてしまうとの事なので、無理なく無茶せず、バランスよく周りの人に相談しながら物事をこなせたらいいと日々思われているそうです。

これからも藤原さんに聞いてよかった、相談してよかったと思ってもらえるように自己研鑽を積んで、信頼されるソーシャルワーカーであり続けたいと語っておられました。短い時間でしたがお話を伺う中で、日々、素晴らしい相談支援業務をされているのだろうなという思いと多くの方々から再出発の力を与えてられるのだろうなという思いを強く持ちました。

「2023年度 公益社団法人 大阪社会福祉士会 大阪北支部全体会議の報告」

令和6年3月16日（土）14:00から大阪府社会福祉会館（405会議室）及びオンライン（Zoom）にて大阪北支部全体会議を開催し、すべての議案について承認されたことをご報告させていただきます。議案内容の詳細等については、本年の総会資料及び、本会ホームページ等に掲載されますので、ご確認ください。



1. 2023年度 大阪北支部事業報告の承認の件
2. 2023年度 大阪北支部決算報告の承認の件
3. 2024年度 大阪北支部事業計画報告の件
4. 2024年度 大阪北支部会計予算の報告の件
5. 大阪北支部役員承認の件



（支部役員については以下の通り。敬称略）

【支部長】横田隆作 【副支部長】田中宏幸、岡由紀子、奥田教之

【事務局長】穂山義照 【会計】廣道尚之 【監事】李千秋 【相談役】小笠原範昭

【企画広報委員】今恵里子、吉田寿子、前田照志、小室泰美、谷口順子、遠藤幸一、黒瀬健、東田明久、新徳剛久、松下麻美、和泉美和子、麻生達也、木本雅人、水流添真、島岡繁希、津田愛、田上結稀、斎藤美智、武田共生、大橋洋、森本俊介、更谷智津子、柴田靖之